

平成 28 年度 第 11 回 水辺とみなとのまち部会		会議概要
日 時	平成 29 年 1 月 10 日 (火) 13 : 30 ~ 15 : 00	
会 場	市役所本館 6 階 執行部控室	
出席委員	藤田委員, 田村 (幸) 委員, 外内委員, 青木委員, 大堀委員, 関谷委員, 小島委員, 渡辺委員, 大坂委員	
欠席委員	豊嶋委員	
事 務 局	小柳主幹, 外川副主査	
議 題	座長挨拶・前回から部会当日までの経過報告	
内 容	<p>○平成 29 年度区自治協議会提案事業について 新潟港開港 150 周年に向け区民意識啓発を図るため, 港をモチーフにした「平成 30 年版カレンダー」を作成する。(平成 31 年が 150 周年)</p> <p>○夏休み親子社会科体験「訪ねよう! 北前船物語」の報告書作成について 報告書編集内容の素案について確認</p> <p>○下町地域 4 コミ協代表及び「まちづくり団体」代表との情報交換会について 会場・日時を確定, 案内状配布の報告</p>	
議 題	「北前船物語」報告書及び「情報交換会」と 28 年度事業評価について	
会議内容 及び 決定事項 等	<p>○夏休み親子社会科体験「訪ねよう! 北前船物語」報告書の進捗報告及び最終版確認</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1 月 17 日 (火) 納品予定・150 部作成 ・1 月 19 日 (木) 開催の「情報交換会」に配布予定 <p>○下町地域 4 コミュニティ協議会代表及び「まちづくり団体」代表との情報交換会について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・日時: 平成 29 年 1 月 19 日 (木) 14 時~ ・会場: 市役所本館 3 階 対策室 1 ・運営確認及び役割分担を確認 <p>○平成 28 年度中央区自治協議会「水辺とみなとのまち部会」事業評価書作成について</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2 月開催の第 12 回部会において, 座長より素案を提案し, 協議を行う。 	
その他		

平成 28 年度 水辺とみなとのまち部会 下町地域情報交換会 会議概要	
日 時	平成 29 年 1 月 19 日 (木) 14 : 00 ~ 16 : 00
会 場	市役所本館 3 階 対策室 1
出席委員	藤田委員, 田村 (幸) 委員, 外内委員, 青木委員, 大堀委員, 関谷委員, 豊嶋委員, 小島委員, 渡辺委員,
欠席委員	大坂委員
事 務 局	長浜地域課長, 小柳主幹, 外川副主査
参加団体	入舟地区コミュニティ協議会, 湊地区コミュニティ協議会, 豊照地区コミュニティ協議会, 新潟下町をよくする会, 日和山五合目, 新潟北部開発協議会, 早川堀通り周辺まちづくりを考える会 計 7 団体
アドバイザー	旧小澤家住宅, 地域・魅力創造部
会議名	下町地域コミュニティ協議会代表及び「まちづくり団体」代表との情報交換会
第一部	○中央区自治協議会「水辺とみなとのまち部会」活動報告 (座長より説明) ①みなと新潟「北前船物語」 ②平成 29 年度「水辺とみなとのまち部会」事業説明
第二部	○情報交換会 ・開港 150 周年に向けて地域で取り組めること 【主な発言内容】 ● 「みなとぴあ」に北前船にかかわるコース内容や人脈の交流など説明があるとよいのでは。 ● 「みなとぴあ」の中には北前船に関する展示はある。外にあれば良いのかもしれないが、館内に入ってもらわなければ意味がない。中に入ってもらい仕組みが必要である。 ● 報告書 (※「訪ねよう! 「北前船物語」実施報告書」) 内のアンケート結果についてだが、印象に残った場所で「早川堀通り」を挙げている人がいない。現在は、地元の中学校が総合学習で「早川堀」を学び、住民と一緒に活動をしている。開港 150 周年の時には、シティガイドだけでなく、児童、生徒から発信してもらいたい。 ● 報告書には、大人も「学ぶことが多かった」とある。私自身も含め、大人として、市民として、開港 150 周年をどう迎えたらいいいのか考える必要がある。新潟という町は、新発田や長岡のような城下町ではない。砂と共に育ち、民衆の力によって繁栄した歴史的背景を理解・整理し、大人が学ぶための講座を開いたらどうか。 ● 「水辺とみなとのまち部会」の次年度の計画にあるカレンダーは子どもたちだけでなく、姉妹都市にも配布してはどうか。また、「みなと」の様子を実際に目で見る必要がある場所が必要である。 ● 新潟の町はインフラで守られている。全国的にも「インフラ・ツアー」

	<p>が流行りはじめている。ポンプ場や日和山展望台などどうか。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● いろいろな所で開港 150 周年に向けて、と掛け声は上がっているが、具体化されていないので、なかなか力が入らない。地域をいかに巻き込んでいくか。地域にうまく発信していけば、参加人員が増え、広がっていくのではないか。(夏休み親子社会科体験では、参加者が少なすぎる) ● 下町地域にはたくさんの課題がある。それらの地域課題と連携することも必要ではないか。 ● ブラタモリ以降の観光客の視線が変わってきている。「みなとぴあ」から川を見て、港を感じていたのだが、今では浚渫船に興味を持つようになっていく。松林については、明治神宮は人口の松林だが、新潟は砂場に森を作ったようなもので凄いことである。早川堀については、まず人が来るのが大事。早川堀沿いの樹木が育ち、店が増えていくことに期待する。医学町や学校町などの地名も開港が関係している。地域の魅力を創造することが大切では。 <p>日光が外国人に知られるようになったきっかけは、明治期に日本を訪れた女性旅行家であるイザベラ・バードさんの旅行記のおかげ。新潟にも訪れ、下町、本町、古町を巡っている。近々、マンガの本にて新潟が取り上げられる予定。</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 150 周年の目玉がほしい。沼垂との歴史などを感じさせる川を利用したゲームなどのイベントはどうか。 ● 「みちのく丸」帆船を呼び、人を集めては。 ● 新潟市は観光バスの駐車場が少ない。新潟と言えは萬代橋なのに、萬代橋付近に駐車場がない。そのあたりの整備が必要。 ● 物資だけでなく、人や文化も入ってきた開港五港。ハード、ソフトなどさまざまな視点から開港を見る。
その他	